平成22年12月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成22年８月６日

上場会社名	株式会社大日光・エンジニアリング	上場取引所	ＪＱ
コード番号	6635	ＵＲＬ	http://www.dne.co.jp
代表者	（役職名）代表取締役社長	（氏名）山口　侑男	
問合せ先責任者	（役職名）取締役副社長兼務経営企画室長	（氏名）為崎　靖夫	（ＴＥＬ）　0288（26）3930
四半期報告書提出予定日	平成22年８月10日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無　　：有（機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

１．平成22年12月期第２四半期の連結業績（平成22年１月１日～平成22年６月30日）

（１）連結経営成績（累計）　　（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年12月期第２四半期	17,588	45.0	488	―	424	―	232	―
21年12月期第２四半期	12,127	―	△311	―	△380	―	△806	―

	１株当たり四半期純利益		潜在株式調整後１株当たり四半期純利益	
	円	銭	円	銭
22年12月期第２四半期	85	94	―	―
21年12月期第２四半期	△298	60	―	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	１株当たり純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
22年12月期第２四半期	20,739	2,221	10.5	803	01
21年12月期	20,271	2,084	10.1	757	15

（参考）自己資本　　22年12月期第２四半期　2,168百万円　21年12月期　2,044百万円

２．配当の状況

	年間配当金									
	第１四半期末		第２四半期末		第３四半期末		期末		合計	
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
21年12月期	―	―	0	00	―	―	8	50	8	50
22年12月期	―	―	0	00						
22年12月期（予想）					―	―	8	50	8	50

（注）当四半期における配当予想の修正有無：無

３．平成22年12月期の連結業績予想（平成22年１月１日～平成22年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	35,004	21.9	667	―	532	―	292	―	108	14

（注）当四半期における業績予想の修正有無：無

４．その他（詳細は、［添付資料］Ｐ．３「その他」をご覧ください。）

（１）当四半期中における重要な子会社の異動　：無

新規　　―　社　（社名）　　、除外　　―　社　（社名）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用：有

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

①　会計基準等の改正に伴う変更：無

②　①以外の変更　　：無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	22年12月期２Ｑ	2,700,000株	21年12月期	2,700,000株
②　期末自己株式数	22年12月期２Ｑ	77株	21年12月期	77株
③　期中平均株式数（四半期累計）	22年12月期２Ｑ	2,699,923株	21年12月期２Ｑ	2,699,923株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．その他の情報 …… 3
（１）重要な子会社の異動の概要 …… 3
（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 …… 3
（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 …… 3
（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書 …… 6
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 7
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 10

１．当四半期の連結業績等に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の経済情勢を概観いたしますと、我が国経済は、2009年３月を底に緩やかな回復が持続していますが、主に内外の景気刺激策に拠るもので、ファンダメンタルズは依然として低迷しており不況感が根強く残存しています。リーマン・ショック後は円高が進み、経済指標は足元の景気頭打ち・悪化を示唆しています。海外経済を展望すると、米国は、商業用不動産価格下落、金融機関不良債権など様々な問題から長期低迷しており、ＥＵはギリシア問題などソブリンリスクによる構造不況が懸念されます。一方で、中国を牽引役に新興国経済は成長率が維持継続する方向にあります。

このような経営環境の下、当第２四半期連結累計期間の経営成績は下記のとおりとなりました。

日本は、電子部品実装部門において、情報通信機器用、半導体製造装置用基板実装が穏やかに需要回復しつつあり、アミューズメント機器用も堅調な受注を確保、機構組立部門は、昨年度下半期に続いて一眼レフを中心とするデジタルカメラ市場需要から、レンズ組立受注が安定推移しております。

アジアは、香港・中国深圳子会社において、昨年の主力取引先の大幅減産から回復基調となりました。中国無錫子会社においても情報通信機器用が回復傾向となっており、またレンズ組立事業の受注が安定的に確保されております。

以上の結果、連結売上高は17,588百万円（前年同期比45.0％増加）となりました。

また、アジア、日本ともグループ全体で、昨年度の売上高大幅減少に伴う収益減少に対して固定費圧縮など効率化を推進して利益体質への改善に取り組んでまいりました結果、連結営業利益は488百万円（前年同期は311百万円の営業損失）となりました。

受注の回復に伴い、手元資金の充足のため資金調達を増やしたため、金融費用が増加したことにより、連結経常利益は424百万円（前年同期は380百万円の経常損失）となりました。これに法人税等及び少数株主利益等を加減した結果、連結四半期純利益は232百万円（前年同期は806百万円の純損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末における総資産は20,739百万円(前連結会計年度末比467百万円増)となりました。

流動資産は、受取手形及び売掛金が増加したこと及び原材料及び貯蔵品が増加したこと等により、16,407百万円(前連結会計年度末比553百万円増)となりました。

固定資産は、機械装置の売却等により4,332百万円(前連結会計年度末比86百万円減)となりました。

当第２四半期連結会計期間末における負債は18,517百万円(前連結会計年度末比330百万円増)となりました。

流動負債は、未払法人税等が増加した一方、支払手形及び買掛金、短期借入金及び一年内返済予定の長期借入金が減少したこと等により、12,728百万円(前連結会計年度末比247百万円減)となりました。

固定負債は、社債及び長期借入金の増加等により、5,788百万円(前連結会計年度末比577百万円増)となりました。

純資産合計は、株主資本が増加したことにより2,221百万円(前連結会計年度末比137百万円増)となりました。

(キャッシュ・フローの状況)

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ２百万円増加し、3,107百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況は下記のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果獲得した資金は３百万円(前年同期比714百万円減)となりました。

売上債権の増加481百万円及びたな卸資産の増加210百万円があった一方、税金等調整前四半期純利益411百万円、減価償却費287百万円があったこと等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は376百万円(前年同期比236百万円増)となりました。

有形固定資産の取得による支出370百万円があったこと等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果獲得した資金は416百万円(前年同期比80百万円減)となりました。

短期借入金の純減48百万円及び社債の償還264百万円があった一方、長期借入金の純増368百万円及び社債の発行390百万円があったこと等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成22年12月期の業績予想につきましては、平成22年２月12日公表の通期連結業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成22年８月５日に開示いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

２．その他の情報

（１）重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

（２）簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

固定資産の減価償却費の算定方法

固定資産の減価償却については、当連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

（３）会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

（４）継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,117,433	3,114,458
受取手形及び売掛金	7,257,433	6,854,618
商品及び製品	528,167	712,780
仕掛品	436,028	261,609
原材料及び貯蔵品	4,449,927	4,305,311
繰延税金資産	22,625	12,890
その他	595,940	592,546
貸倒引当金	△554	△554
流動資産合計	16,407,001	15,853,660
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,989,947	2,909,489
減価償却累計額	△1,820,536	△1,780,938
建物及び構築物（純額）	1,169,411	1,128,551
機械装置及び運搬具	4,372,786	4,571,836
減価償却累計額	△2,423,368	△2,464,916
機械装置及び運搬具（純額）	1,949,417	2,106,920
土地	185,568	150,198
その他	624,006	606,773
減価償却累計額	△380,829	△355,366
その他（純額）	243,176	251,406
有形固定資産合計	3,547,574	3,637,077
無形固定資産	97,383	102,303
投資その他の資産		
投資有価証券	233,561	225,880
保険積立金	366,075	363,837
繰延税金資産	28,465	25,649
その他	93,767	98,111
貸倒引当金	△34,662	△34,662
投資その他の資産合計	687,206	678,816
固定資産合計	4,332,163	4,418,197
資産合計	20,739,165	20,271,857

（単位：千円）

	当第２四半期連結会計期間末 （平成22年６月30日）	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 （平成21年12月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,163,146	6,350,476
短期借入金	2,958,136	3,092,918
1年内返済予定の長期借入金	2,141,273	2,229,048
1年内償還予定の社債	483,000	476,500
未払法人税等	132,880	31,889
その他	850,520	795,186
流動負債合計	12,728,957	12,976,018
固定負債		
社債	570,500	451,500
長期借入金	5,188,339	4,731,642
繰延税金負債	1,572	2,326
退職給付引当金	17,733	11,116
その他	10,224	14,585
固定負債合計	5,788,369	5,211,170
負債合計	18,517,327	18,187,188
純資産の部		
株主資本		
資本金	856,300	856,300
資本剰余金	563,300	563,300
利益剰余金	1,193,625	984,546
自己株式	△50	△50
株主資本合計	2,613,174	2,404,096
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△63,067	△50,099
繰延ヘッジ損益	△338	△343
為替換算調整勘定	△381,690	△309,394
評価・換算差額等合計	△445,096	△359,837
少数株主持分	53,759	40,410
純資産合計	2,221,838	2,084,668
負債純資産合計	20,739,165	20,271,857

（２）四半期連結損益計算書
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年１月１日 至　平成21年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年６月30日）
売上高	12,127,469	17,588,360
売上原価	11,778,099	16,335,557
売上総利益	349,369	1,252,802
販売費及び一般管理費	660,965	764,200
営業利益又は営業損失（△）	△311,595	488,602
営業外収益		
受取利息	2,031	1,463
受取配当金	3,585	1,931
その他	32,216	51,303
営業外収益合計	37,833	54,698
営業外費用		
支払利息	79,950	88,944
その他	26,289	29,762
営業外費用合計	106,240	118,706
経常利益又は経常損失（△）	△380,002	424,593
特別利益		
固定資産売却益	－	4,069
投資有価証券売却益	8,475	2
特別利益合計	8,475	4,071
特別損失		
固定資産売却損	5,431	17,439
固定資産除却損	37,840	171
減損損失	32,446	－
たな卸資産評価損	322,322	－
投資有価証券売却損	6,389	4
投資有価証券評価損	313	－
特別損失合計	404,744	17,614
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△776,271	411,050
法人税等	29,178	165,672
少数株主利益	758	13,349
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△806,207	232,028

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年１月１日 至　平成21年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年６月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△776,271	411,050
減価償却費	329,426	287,658
受取利息及び受取配当金	△5,617	△3,394
支払利息	79,950	88,944
社債発行費	4,374	4,883
為替差損益（△は益）	15,515	21,020
有形固定資産売却損益（△は益）	5,431	13,369
有形固定資産除却損	37,840	171
減損損失	32,446	－
売上債権の増減額（△は増加）	205,883	△481,566
たな卸資産の増減額（△は増加）	979,140	△210,101
仕入債務の増減額（△は減少）	△373,023	△34,618
賞与引当金の増減額（△は減少）	△21,000	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	674	6,617
投資有価証券売却損益（△は益）	△2,085	2
投資有価証券評価損益（△は益）	313	－
未収消費税等の増減額（△は増加）	149,325	45,791
未払消費税等の増減額（△は減少）	7,937	△3,524
その他	116,478	△6,882
小計	786,741	139,421
利息及び配当金の受取額	5,607	3,846
利息の支払額	△79,071	△86,407
法人税等の支払額	△55,169	△53,616
法人税等の還付額	59,759	－
営業活動によるキャッシュ・フロー	717,868	3,244
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△10,000	－
有形固定資産の取得による支出	△142,155	△370,802
有形固定資産の売却による収入	14,219	14,561
無形固定資産の取得による支出	△424	△218
投資有価証券の取得による支出	△45,346	△14,823
投資有価証券の売却による収入	59,564	705
その他	△15,983	△6,282
投資活動によるキャッシュ・フロー	△140,126	△376,860

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成21年１月１日 至　平成21年６月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成22年１月１日 至　平成22年６月30日）
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△89,829	△48,331
長期借入れによる収入	1,700,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,193,559	△1,131,077
社債の発行による収入	300,000	390,000
社債の償還による支出	△192,000	△264,500
配当金の支払額	△20,700	△22,783
その他	△6,179	△6,490
財務活動によるキャッシュ・フロー	497,730	416,816
現金及び現金同等物に係る換算差額	27,355	△40,225
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	1,102,827	2,975
現金及び現金同等物の期首残高	1,749,215	3,104,458
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,852,043	3,107,433

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報
１　事業の種類別セグメント情報
前第１四半期連結累計期間（自　平成21年１月１日　至平成21年６月30日）
電子部品受託加工事業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90％超であるため、事業の種類別のセグメント情報の記載を省略しております。

当第１四半期連結累計期間（自　平成22年１月１日　至平成22年６月30日）
電子部品受託加工事業の売上高、営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計、営業利益の金額の合計額に占める割合がいずれも90％超であるため、事業の種類別のセグメント情報の記載を省略しております。

２　所在地別セグメント情報
前第２四半期連結累計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年６月30日）

	日本 （千円）	アジア （千円）	計 （千円）	消去又は全社 （千円）	連結 （千円）
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	5,391,710	6,735,758	12,127,469	－	12,127,469
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	1,337,861	726,731	2,064,593	(2,064,593)	－
計	6,729,572	7,462,490	14,192,062	(2,064,593)	12,127,469
営業利益又は営業損失(△)	162,841	△380,836	△217,994	(93,601)	△311,595

当第２四半期連結累計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年６月30日）

	日本 （千円）	アジア （千円）	計 （千円）	消去又は全社 （千円）	連結 （千円）
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,511,303	10,077,057	17,588,360	－	17,588,360
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	2,420,068	1,193,702	3,613,770	(3,613,770)	－
計	9,931,371	11,270,759	21,202,130	(3,613,770)	17,588,360
営業利益	605,547	26,216	631,763	(143,161)	488,602

（注）１．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。
２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域
アジア……中国、台湾、ベトナム等

３　海外売上高

前第２四半期連結累計期間（自　平成21年１月１日　至　平成21年６月30日）

	アジア	計
Ⅰ　海外売上高（千円）	6,661,724	6,661,724
Ⅱ　連結売上高（千円）	－	12,127,469
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	54.9	54.9

当第２四半期連結累計期間（自　平成22年１月１日　至　平成22年６月30日）

	アジア	計
Ⅰ　海外売上高（千円）	10,077,057	10,077,057
Ⅱ　連結売上高（千円）	－	17,588,360
Ⅲ　連結売上高に占める海外売上高の割合（％）	57.3	57.3

（注）１．国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

２．各区分に属する国又は地域の内訳

アジア…中国、台湾、ベトナム等

３．海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。